

平成 28 年度 胎内市学校保健部 活動報告

部長 中野 恵子

1 研究主題

心身共に健全な児童・生徒の育成

2 研究の概要

- | | | |
|-------------|--|-----------|
| (1) 第 1 回部会 | 「事業計画の立案」 | 会場：胎内小学校 |
| (2) 第 2 回部会 | 「胎内市教育委員会担当者との連絡会」
「学校保健統計資料集作成作業・研修準備」 | 会場：黒川庁舎 |
| (3) 第 3 回部会 | 「講演・演習」 | 会場：きのと交流館 |

3 研究の実際

○第 2 回部会

- ・ 市教育委員会 宮村奈緒様をお迎えし学校保健に関する意見交換を行った。その後、統計班と研修班に分かれ胎内市学校保健統計資料編集作業と 10 月の研修会の準備を行った。

○第 3 回部会

- ・ 講師にスクールカウンセラー兼、教育研修コーチング協会、石垣 順子 様をお招きし「保健室で活用する、『元気』を支えるコミュニケーション」をテーマにご講演をいただいた。養護教諭自身のしぼんだ「こころ」を見つめ直す作業により、児童生徒の気持ちを的確に理解するためのコツを学ぶことができた。また、演習を通して、マイナスワードをプラスに変える言葉がけや緊張をほぐす方法など、保健室で活用できるコミュニケーションスキルについてご指導いただいた。



4 成果と課題

(1) 成果

- ・ 胎内市教育委員会との連絡会では、学校保健に関する意見交換会を行うことで、行政・学校間で当市が抱える学校保健に関する課題が共通理解でき、執務の効率化を図る上で有意義であった。
- ・ 「胎内市学校保健統計資料集」を例年通り発行できた。このことは、当市の児童生徒の健康課題を、学校と行政・学校医等の間で共通理解することにつながった。
- ・ 講師の先生を招いての研修会では、一人一人が学びや気づきを習得し各校へ持ち帰ることができた。養護教諭としての立場、保健室という場所に求められている大切な役割について再確認でき、個々の力量を高める上でとても有意義な研修会であった。

(2) 課題

- ・ 子どもたちが個々に抱える課題を言葉で表現することは難しい。非言語的表現にも目を向けて対応することを意識しながら子どもたちの課題の解決を目指していく必要がある。